

市長	副市長	教育長	教育次長	課長	館長	課長補佐	係長	記録

【所属名：教育委員会文化振興課（博物館）】
【会議名：糸魚川市博物館協議会 全体会】

開示
一部開示 (理由:条例第 条第 号 該当)
不開示
時限不開示 (開示: 年 月 日)

会 議 録

作成日 平成 27 年 8 月 1 日

日	平成 27 年 7 月 25 日	時間	14:00 ~ 16:20	場所	フォッサマグナミュージアム 研修室
件名	議題 1 報告事項 1 ~ 6 議題 2 協議事項 平成 27 年度博物館協議会の活動計画について 博物館事業計画について				
出席者	【出席者】7人 専門部会 梶座副会長 天野委員 大塚委員 松岡委員 運営部会 伊藤会長 渡辺委員 中村委員 【欠席者】3人 運営部会 池田委員 野本委員 赤野委員 【事務局】 博物館 宮島館長補佐 竹之内館長補佐 杉野業務係長 傍聴者定員 人 傍聴者数 0人				

会議要旨

- 1 開会 (14:00)
宮島館長補佐あいさつ
- 2 自己紹介
委員並びに事務局自己紹介
- 3 会長、副会長の選任について
【事務局】 選出方法については、いかがいたしましょうか。
【各委員】 事務局に一任する。
【事務局】 会長に伊藤委員、副会長に梶座委員を推薦したい。
【各委員】 異議なし。
- 4 議 題
(1) 報告事項
【事務局】 報告事項 1 ~ 6 を資料に基づき説明する。
【委 員】 リニューアル後、大きく人数が増えているが、お客様は、どこから情報を得て来られているか。アンケートを取る等して分析しているのか。
【事務局】 特にアンケートはとっていない。新幹線オープンに合わせ集中的に広告を実施したこと、同時期にリニューアルや新幹線特集などで多くの取材があったことが大きいと分析している。これ以外にも春から糸魚川駅から博物館行きの路線バスが開通した。新幹線利

用者がバスを利用している。この効果も大きいと感じている。

【委員】 新しく出来た路線バスの告知はどのようにしているか。

【事務局】 ホームページ等で周知している。約1時間間隔で運行しており、休日等は結構利用しているようだ。

【委員】 ジオパルやジオサイト等、新幹線の待ち時間の活用方法を積極的に提案すべきである。また、初めて糸魚川に来た人が博物館行きのバスがあることに気付かないのではないか。

【事務局】 了解した。博物館行きのバスについては、待合室に表示したり、ホームページ等で積極的にPRしていきたい。

【委員】 利用人数が大幅に伸びているが、お客様への対応等に問題はないか。

【事務局】 今のところ、特に問題は発生していない。今年は特殊な年であると考えており、来年以降は厳しい入り込みになると思うので誘客に努めたい。

【委員】 石の相談は好評のようだが、他の博物館でも実施しているのか。また、かなりの数をこなしているが、今後、対応しきれぬのか。

【事務局】 当館のみと思われる。繁忙期は学芸員3～4人で対応している。業務に支障が出ることもあるが、人気企画なので業務等に支障が出ないように工夫して実施したい。

【委員】 高校の利用も増えているようだが、何が原因か。

【事務局】 SSHの高校が増えている。DMも送っているが、横の連携で評判が伝わっているのではないか。

【委員】 世界ジオパークになったが外国人の利用はどの程度あるのか。

【事務局】 各国から来ていただいている。アジア系のお客様は外国人かどうか分からない場合が多く、特にカウントはしていないが、今後は可能な限りカウントしていきたい。英語版のパンフレットも用意している。

【委員】 中国からのお客様はどんどん増えている。中国人は英語が分からないので中国語でのパンフレットも整備する必要がある。この他にもアジアの言葉でのパンフも必要である。また、リニューアル後の利用者の感想はどうか。

【事務局】 お客様ノートを見ると評判は上々である。地元のヒスイが素晴らしくフォッサマグナのことでも分かりやすいとの声が多い。

【委員】 校長会等の先生の見学は良い取り組みだと思う。先生から生徒や保護者に広がっていく効果が期待できる。

【事務局】 了解した。テレビ広告を集中的に実施したが、皆さんは見られたらだろうか。

【委員】 最近の学生はあまりテレビを見ないようだ。ネット関係に反応しているようだ。

(2) 協議事項

【事務局】 平成27年度博物館協議会の活動計画について説明。

【委員】 部会の日程調整は早目に実施してほしい。

【事務局】 平成27年度事業計画、活動計画(業務係担当分)について説明。

【委員】 メンテナンスのための臨時休館はどれ位の日数が必要か。

【事務局】 青海の自然史博物館を閉じたので例年よりは短くて済みそうである。

【事務局】 平成27年度事業計画、活動計画(学芸係担当分)について説明。

【委員】 昨年、参加者が少なかったジオツアーの対策を考えているか。

- 【事務局】 親不知などの、いつも実施している定番のツアーは、どうしても参加者が少ない。
このたび国立公園が分離されたので、今年は雨飾り温泉や焼山のジオツアーを実施した。
ここは、なかなか行けない所なので比較的参加者が多かった。また、人気講師のツアーは
固定客がおり人数が多い。
- 【委員】 定番の所は初めての人には理解しやすい。ターゲットを絞って募集することも必要では
ないか。
- 【委員】 郷土の人間は季節によって魅力を増すジオサイトを選んで勉強するのも、おもしろい
と思った。
- 【委員】 ジオツアー等の募集はどのように行っているのか。
- 【事務局】 広報お知らせ版、ホームページ、新聞などで募集している。
- 【委員】 高校生は絶対見ない媒体である。高校生を引っ張り出すことを考える必要がある。
- 【事務局】 高校生がジオツアーに参加することはほとんどない。当館の弱点である。
- 【委員】 最近はSSHやSGHで引っ張り出されることがある。そういう所に積極的に働きか
けたらどうか。
- 【委員】 現在の展示は高校の教材としても活用できる内容である。
- 【事務局】 地学部系の学校は増えてきている。工夫したい。宿泊への補助もあり、そういう所もP
Rしたい。
- 【委員】 モデルコースを作ってPRしたらどうか。
- 【委員】 原発事故以降、安全な日本海側への需要は高まっているようだ。
- 【委員】 県内に地学の先生がほとんどいない。地学の生徒を集めるのが難しくなっている。
- 【委員】 ジオツアーの年間予定表は広報等に出ているのか。早目に分かれれば予定を立てやすい。
直前に広報に載っても計画できない場合がある。
- 【事務局】 了解した。各種団体でイベントがぶつかっている場合が多い。可能な限り連携して早目
に周知したい。
- 【委員】 ジオパークガイドは何人ぐらいいるのか。博物館とはどのように連携しているのか。
- 【委員】 ガイドは現在38人いる。実際に活動しているのは、その内の半分位である。
- 【委員】 ガイドの人が勉強したい場合は博物館では対応できるのか。
- 【委員】 ガイドの会で勉強するときは学芸員から指導してもらっている。それ以外は個人でジ
オパークツアー等に参加して勉強している。
- 【委員】 ガイドの会だけでなく、ガイド個人が深く勉強したいときに、気軽に博物館に来て勉強
できるようにすれば、ガイド以外の一般の市民も訪れやすくなるのではないか。
- 【事務局】 気軽に来れるような雰囲気づくりに努めたい。夏休み期間中は館内で、ガイドの会の皆
さんからボランティアで観光案内をして頂いており、大変助かっている。
- 【委員】 神奈川県相模原市博物館では、市民研究室の出版物があって市民の人が自由に調べ
られるようになっている。そこから広がりが出ている。
- 【事務局】 当館も閲覧室があり書籍などを自由にみられるようにしているが、活用面で課題がある。
市民との連携が深められるよう配慮していきたい。要望があれば出してほしい。
- 【委員】 ガイドの内容分け、地域分けはどうなっているか。
- 【委員】 ガイドによって得意分野がある。分野の幅が広く全てに対応するのは難しい。
- 【委員】 新潟大学では、県内のジオパークやフォッサマグナミュージアムと連携して企画展を

実施している。スタンプラリーも実施しているので、実績に付け加えておいてほしい。

もう1点、ミュージアムとの共同研究として中生代の恐竜の化石の発見を目指している。近い将来、恐竜の化石が見つかる可能性が高い。見つかった時に慌てないように、今から準備を進めておいてほしい。報道対応や情報管理、土地問題など各地で混乱している。

【事務局】 出来たら来馬層から見つけてほしいと思っている。新発見になる可能性が大きい。十分心して対応したい。また、新潟大学の企画展をミュージアムで実施してもらえないだろうか。

【委員】 最近は体験型の企画を実施している。今後とも協力して実施していきたい。

5 その他

【委員】 宇奈月との連携を考えた方がよい。どういう業者が、どういうお客を連れてきているのか等の基礎数字を押さえておく必要がある。富山に来ているお客を呼び込むチャンスである。

【事務局】 連携を図れるよう勉強したい。

6 閉会

以上